

## 第13期

# 運用報告書(全体版)

## 新興国国債オープン (1年決算型) (愛称 アトラス(1年決算型))

【2020年8月12日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「新興国国債オープン(1年決算型)(愛称 アトラス(1年決算型))」は、2020年8月12日に第13期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、主としてJPMorgan社のGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等(以下、「新興国の国債等」といいます。)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年8月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
9期(2016年8月12日)	7,952	100	△13.9	214.672	△11.1	88.7	—	53
10期(2017年8月14日)	9,062	100	15.2	243.447	13.4	82.0	—	179
11期(2018年8月13日)	8,388	100	△6.3	234.055	△3.9	82.0	—	496
12期(2019年8月13日)	8,796	100	6.1	244.435	4.4	88.2	—	520
13期(2020年8月12日)	8,879	100	2.1	249.800	2.2	82.1	—	526

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)	円	%	ポイント	%	%	%
2019年8月13日	8,796	—	244.435	—	88.2	—
8月末	8,749	△0.5	244.078	△0.1	87.6	—
9月末	9,016	2.5	251.667	3.0	95.9	—
10月末	9,355	6.4	259.050	6.0	94.8	—
11月末	9,263	5.3	256.745	5.0	95.0	—
12月末	9,539	8.4	265.519	8.6	87.0	—
2020年1月末	9,505	8.1	262.643	7.4	86.0	—
2月末	9,341	6.2	261.854	7.1	83.6	—
3月末	8,218	△6.6	227.849	△6.8	96.7	—
4月末	8,409	△4.4	232.465	△4.9	91.0	—
5月末	8,881	1.0	246.171	0.7	90.0	—
6月末	8,968	2.0	248.317	1.6	88.0	—
7月末	8,966	1.9	248.474	1.7	82.6	—
(期末)						
2020年8月12日	8,979	2.1	249.800	2.2	82.1	—

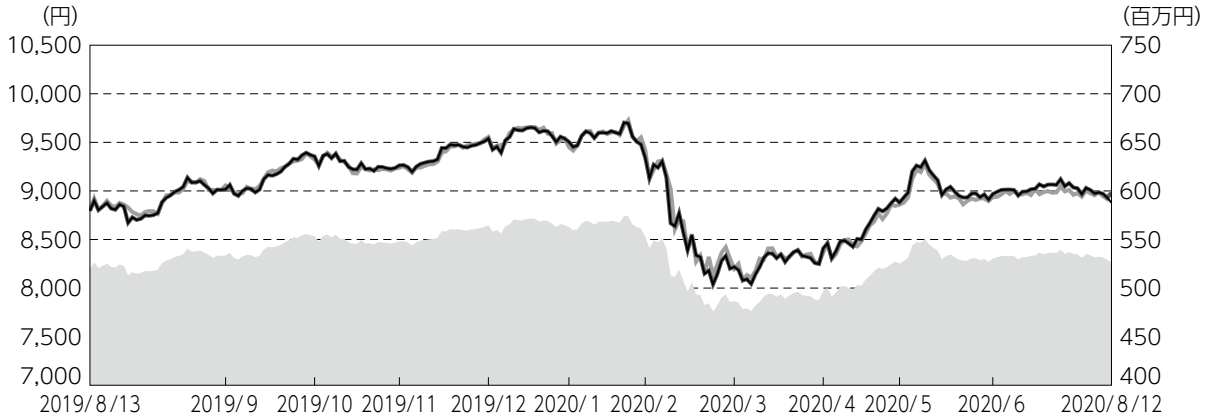
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P. Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2019年8月14日～2020年8月12日）



— 基準価額（左軸）  
 — 分配金再投資基準価額（左軸）  
 — GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）  
 プロード・ディバーシファイド指数（円ベース）（左軸）  
 — 純資産総額（右軸）

期首：8,796円

期末：8,879円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：2.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）プロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2019年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### （主なプラス要因）

- ・現地通貨建て新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、全ての投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・ポーランドズロチが対円で上昇したこと。

##### （主なマイナス要因）

- ・ブラジルリアルを筆頭に多くの投資通貨が対円で下落したこと。

**投資環境**

（2019年8月14日～2020年8月12日）

**＜新興国の国債市場＞**

新興国の国債市場では、主要先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を維持するとの見方が強まったことや、ほとんどの新興国において利下げが実施されたことを受けて、利回りの低下（価格は上昇）基調が鮮明となりました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けてリスク回避の動きが強まると、2020年3月中旬にかけては利回りが急上昇（価格は急落）する展開となりました。しかし、米連邦準備制度理事会（FRB）による強力な金融緩和策に加え、新興国の中央銀行が相次いで利下げや国債購入策を発表したことを受けて、再び利回りは低下基調となりました。また、世界的な低金利環境を背景に、投資家の利回り追求の動きが強まったことも、新興国の債券利回りの低下につながりました。この結果、当期間においては、全ての投資国で債券利回りが低下しました。

**＜為替市場＞**

新興国通貨は、米中貿易摩擦や英国の合意なき欧州連合（EU）離脱に対する懸念が後退したことなどを受けて、投資家のリスク選好の動きが強まり、2020年1月中旬までは、新興国通貨が対円で総じて堅調に推移しました。しかし、その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて新興国からの投資資金の流出が加速し、多くの新興国通貨が対円で急落しました。5月中旬から6月上旬にかけては、世界的な株高を好感し、新興国通貨全般が対円で戻り歩調となる場面も見られましたが、新興国における新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことなどを受けて、その後は総じて上値の重い展開となりました。この結果、当期間においては、投資していた11通貨のうち、ポーランドズロチなど3通貨が対円で上昇する一方、ブラジルレアルなど8通貨が対円で下落しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2019年8月14日～2020年8月12日）

**＜新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））＞**

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

**○新興国債マザーファンド**

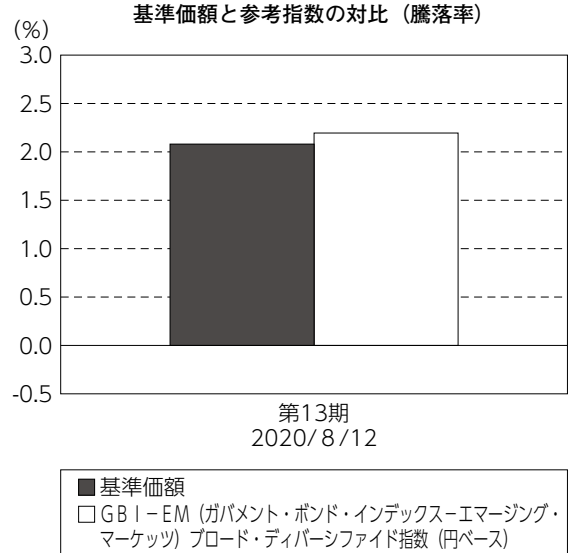
J Pモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（CLN）\*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。特に、新興国通貨の下落リスクが懸念される場面では、新興国の国債及び通貨の組入れを引き下げました。また、2020年1月末から2月上旬にかけては、3通貨に対し対円で為替ヘッジ（3通貨合計で純資産比10%程度）を行いました。その後、3月中旬から下旬にかけては、米国債を6%強組入れました。期末時点の新興国債の投資比率は82.5%、外貨の投資比率は83.8%、投資国上位は、インドネシア、マレーシア、ブラジルとなっています。前期末からの主な変化は、マレーシアや南アフリカなどの投資比率が上昇する一方、トルコやメキシコなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.35年となり、前期末と比較し長期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年8月14日～2020年8月12日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を0.1%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

## 分配金

（2019年8月14日～2020年8月12日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第13期
	2019年8月14日～ 2020年8月12日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	1.114%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,077

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

先進国の国債市場では、各中央銀行による強力な金融緩和策を背景に、当面は各国の債券利回りが低位で推移する展開を想定しています。このため、今後も相対的に高い利回りを求める投資資金が新興国の国債市場に流入しやすい環境が続くと見えています。また、多くの新興国の中央銀行が利下げや国債購入による積極的な金融緩和策を採用していることも、新興国各国の国債利回りの低下要因になると考えています。一方、新型コロナウイルスの感染拡大が財政状況の悪化につながるリスク等に留意する必要があります。

為替市場では、新興国における新型コロナウイルスの感染拡大や新興国経済の先行きに対する不透明感を背景に、新興国通貨の上値の重い展開が続いています。しかし、新興国の国債市場への投資資金の流入が期待されることに加え、ドルが長期的な下落基調に転じつつあり、新興国通貨の下支え要因として働く可能性が高いことから、新興国通貨の下値は限定的と見えています。また、新興国において、新型コロナウイルスの新規感染者の伸びが明確に鈍化するなど、投資家の不安心理を後退させるような環境となれば、新興国通貨が戻りを試す展開に移行すると考えています。

### （運用方針）

#### <新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国債オープンマザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

#### ○新興国債オープンマザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○1万口当たりの費用明細

（2019年8月14日～2020年8月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	129 ( 61 ) ( 59 ) ( 8 )	1.426 (0.680) (0.658) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 1 ) ( そ の 他 2 )	14 ( 7 ) ( 1 ) ( 0 ) ( 6 )	0.153 (0.072) (0.013) (0.001) (0.066)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	143	1.579	
期中の平均基準価額は、9,017円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

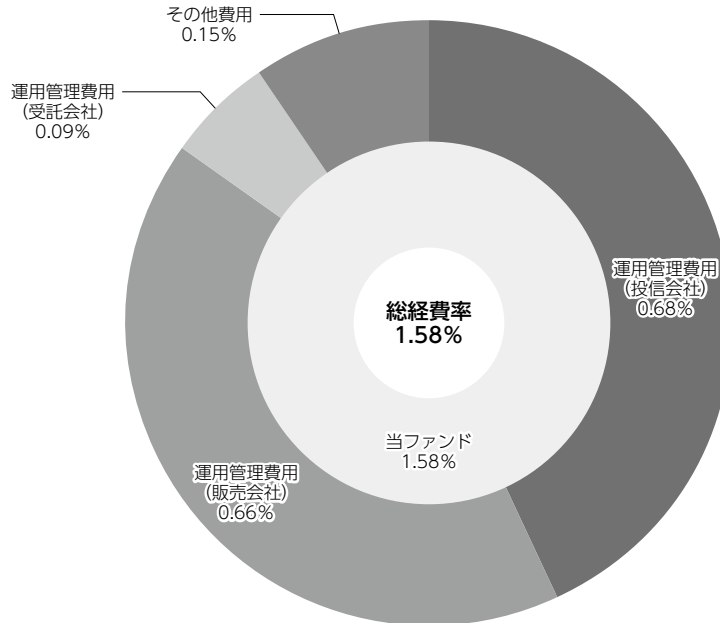
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

（2019年8月14日～2020年8月12日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国債マザーファンド	千口 118	千円 140	千口 10,449	千円 12,684

（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年8月14日～2020年8月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2020年8月12日現在）

### 親投資信託残高

銘 柄	期 首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
新興国債マザーファンド	千口 441,429	千口 431,098	千円 523,482

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2020年8月12日現在）

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
新興国債マザーファンド	千円 523,482	% 97.7
コール・ローン等、その他	12,168	2.3
投資信託財産総額	535,650	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,586,115千円）の投資信託財産総額（5,380,546千円）に対する比率は85.2%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝106.57円、1メキシコペソ＝4.75円、1ブラジルレアル＝19.80円、1ペルーソル＝29.93円、1トルコリラ＝14.69円、1ポーランドズロチ＝28.38円、1ロシアルーブル＝1.45円、1マレーシアリンギット＝25.37円、1インドネシアルピア＝0.0073円、1南アフリカランド＝6.07円、1オフショア元＝15.34円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年8月12日現在）

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	535,650,548
コール・ローン等	12,167,818
新興国債マザーファンド(評価額)	523,482,730
(B) 負債	9,640,875
未払収益分配金	5,924,357
未払信託報酬	3,682,556
未払利息	10
その他未払費用	33,952
(C) 純資産総額(A－B)	526,009,673
元本	592,435,786
次期繰越損益金	△ 66,426,113
(D) 受益権総口数	592,435,786口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,879円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は66,426,113円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.8879円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は591,349,382円、期中追加設定元本額は3,783,318円、期中一部解約元本額は2,696,914円です。

○損益の状況（2019年8月14日～2020年8月12日）

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,506
受取利息	35
支払利息	△ 1,541
(B) 有価証券売買損益	18,401,392
売買益	18,541,881
売買損	△ 140,489
(C) 信託報酬等	△ 7,669,596
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,730,290
(E) 前期繰越損益金	△ 24,714,966
(F) 追加信託差損益金	△ 46,517,080
(配当等相当額)	( 343,318,235)
(売買損益相当額)	(△389,835,315)
(G) 計(D+E+F)	△ 60,501,756
(H) 収益分配金	△ 5,924,357
次期繰越損益金(G+H)	△ 66,426,113
追加信託差損益金	△ 46,517,080
(配当等相当額)	( 343,328,910)
(売買損益相当額)	(△389,845,990)
分配準備積立金	75,967,554
繰越損益金	△ 95,876,587

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第13期
(a) 配当等収益(費用控除後)	28,066,949円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	343,328,910円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	53,824,962円
分配対象収益(a+b+c+d)	425,220,821円
分配対象収益(1万口当たり)	7,177円
分配金額	5,924,357円
分配金額(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2020年8月18日(火)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## 新興国債マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

# 新興国債マザーファンド

## 第13期 運用状況のご報告

決算日：2020年8月12日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）		債券組入率	債券先物率	純資産額
	円	%	ポイント (参考指数)	期騰落中率			
9期(2016年8月12日)	9,894	△12.8	214.672	△11.1	89.2	—	百万円 9,388
10期(2017年8月14日)	11,509	16.3	243.447	13.4	82.5	—	8,774
11期(2018年8月13日)	10,898	△5.3	234.055	△3.9	82.4	—	7,091
12期(2019年8月13日)	11,726	7.6	244.435	4.4	88.6	—	6,251
13期(2020年8月12日)	12,143	3.6	249.800	2.2	82.5	—	5,379

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年8月13日	円 11,726	% —	ポイント 244.435	% —	% 88.6	% —
8月末	11,671	△0.5	244.078	△0.1	88.0	—
9月末	12,044	2.7	251.667	3.0	96.3	—
10月末	12,513	6.7	259.050	6.0	95.3	—
11月末	12,404	5.8	256.745	5.0	95.4	—
12月末	12,790	9.1	265.519	8.6	87.5	—
2020年1月末	12,761	8.8	262.643	7.4	86.4	—
2月末	12,553	7.1	261.854	7.1	84.1	—
3月末	11,051	△5.8	227.849	△6.8	97.2	—
4月末	11,323	△3.4	232.465	△4.9	91.3	—
5月末	11,975	2.1	246.171	0.7	90.4	—
6月末	12,108	3.3	248.317	1.6	88.4	—
7月末	12,120	3.4	248.474	1.7	83.1	—
(期 末) 2020年8月12日	12,143	3.6	249.800	2.2	82.5	—

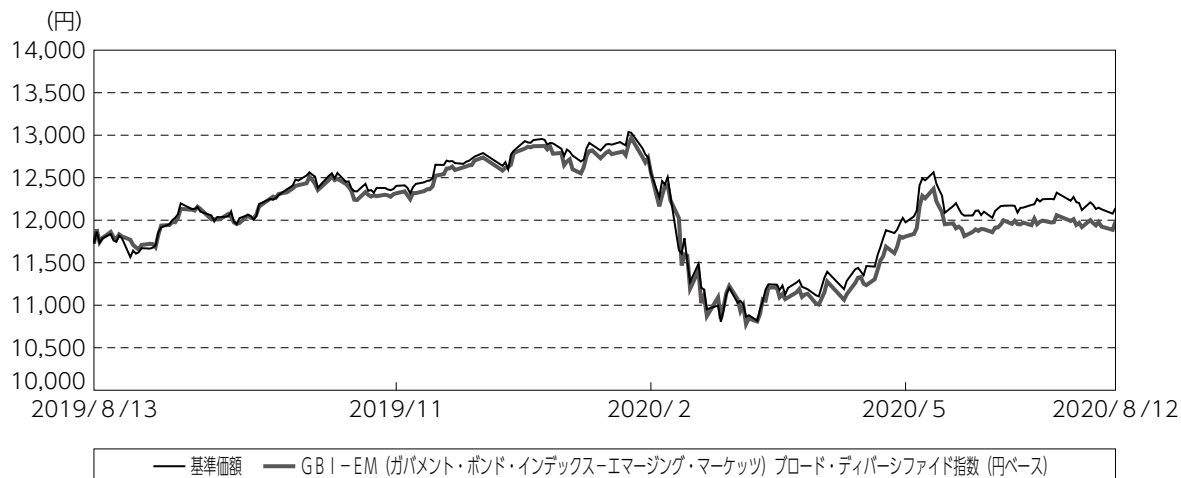
(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2019年8月14日～2020年8月12日)



(注) 参考指数は、GB I-E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2019年8月13日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・現地通貨建て新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、全ての投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・ポーランドズロチが対円で上昇したこと。

#### (主なマイナス要因)

- ・ブラジルリアルを筆頭に多くの投資通貨が対円で下落したこと。

## 投資環境

(2019年8月14日～2020年8月12日)

## ＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、主要先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を維持するとの見方が強まったことや、ほとんどの新興国において利下げが実施されたことを受けて、利回りの低下（価格は上昇）基調が鮮明となりました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けてリスク回避の動きが強まると、2020年3月中旬にかけては利回りが急上昇（価格は急落）する展開となりました。しかし、米連邦準備制度理事会（FRB）による強力な金融緩和策に加え、新興国の中央銀行が相次いで利下げや国債購入策を発表したことを受けて、再び利回りは低下基調となりました。また、世界的な低金利環境を背景に、投資家の利回り追求の動きが強まったことも、新興国の債券利回りの低下につながりました。この結果、当期間においては、全ての投資国で債券利回りが低下しました。

## ＜為替市場＞

新興国通貨は、米中貿易摩擦や英国の合意なき欧州連合（EU）離脱に対する懸念が後退したことなどを受けて、投資家のリスク選好の動きが強まり、2020年1月中旬までは、新興国通貨が対円で総じて堅調に推移しました。しかし、その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて新興国からの投資資金の流出が加速し、多くの新興国通貨が対円で急落しました。5月中旬から6月上旬にかけては、世界的な株高を好感し、新興国通貨全般が対円で戻り歩調となる場面も見られましたが、新興国における新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことなどを受けて、その後は総じて上値の重い展開となりました。この結果、当期間においては、投資していた11通貨のうち、ポーランドズロチなど3通貨が対円で上昇する一方、ブラジルリアルなど8通貨が対円で下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2019年8月14日～2020年8月12日)

J Pモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（CLN）\*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。特に、新興国通貨の下落リスクが懸念される場面では、新興国の国債及び通貨の組入れを引き下げました。また、2020年1月末から2月上旬にかけては、3通貨に対し対円で為替ヘッジ（3通貨合計で純資産比10%程度）を行いました。その後、3月中旬から下旬にかけては、米国債を6%強組入れられました。期末時点の新興国国債の投資比率は82.5%、外貨の投資比率は83.8%、投資国上位は、インドネシア、マレーシア、ブラジルとなっています。前期末からの主な変化は、マレーシアや南アフリカなどの投資比率が上昇する一方、トルコやメキシコなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.35年となり、前期末と比較し長期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年8月14日～2020年8月12日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJ Pモルガン社の「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.4%上回りました。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

先進国の国債市場では、各中央銀行による強力な金融緩和策を背景に、当面は各国の債券利回りが低位で推移する展開を想定しています。このため、今後も相対的に高い利回りを求める投資資金が新興国の国債市場に流入しやすい環境が続くと見えています。また、多くの新興国の中央銀行が利下げや国債購入による積極的な金融緩和策を採用していることも、新興国各国の国債利回りの低下要因になると考えています。一方、新型コロナウイルスの感染拡大が財政状況の悪化につながるリスク等に留意する必要があると見えています。

為替市場では、新興国における新型コロナウイルスの感染拡大や新興国経済の先行きに対する不透明感を背景に、新興国通貨の上値の重い展開が続いています。しかし、新興国の国債市場への投資資金の流入が期待されることに加え、ドルが長期的な下落基調に転じつつあり、新興国通貨の下支え要因として働く可能性が高いことから、新興国通貨の下値は限定的と見えています。また、新興国において、新型コロナウイルスの新規感染者の伸びが明確に鈍化するなど、投資家の不安心理を後退させるような環境となれば、新興国通貨が戻りを試す展開に移行すると考えています。

### (運用方針)

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。



○1万口当たりの費用明細

(2019年8月14日～2020年8月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	17 ( 9)	0.139 (0.073)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
(そ の 他 1)	( 0)	(0.001)	
(そ の 他 2)	( 8)	(0.065)	
合 計	17	0.139	
期中の平均基準価額は、12,109円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年8月14日～2020年8月12日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 3,065	千米ドル 3,089
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 179,593	千メキシコペソ 249,113
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 30,458	千ブラジルレアル 26,072
	ペルー	国債証券	千ペルーソル 13,965	千ペルーソル ( 15,591)
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 22,095	千トルコリラ 40,000
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 47,163	千ポーランドズロチ 49,950
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル -	千ロシアルーブル 104,598
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 11,563	千マレーシアリングgit 5,091
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 42,631,400	千インドネシアルピア 67,099,800
	国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 167,858
中国オフショア		国債証券	千オフショア元 10,034	千オフショア元 20,467

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月14日～2020年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	5 年 以 上			2 年 以 上	2 年 未 満	
ア メ リ カ (クレジット・リンク・ノート)	千米ドル 3,350	千米ドル 3,367	千円 358,863	% 6.7	% —	% —	% 6.7	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 92,000	千メキシコペソ 104,777	497,693	9.3	—	6.7	2.5	—
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 22,000	千ブラジルリアル 26,503	524,775	9.8	9.8	6.3	3.5	—
ペ ル ー	千ペルーソル 11,000	千ペルーソル 14,497	433,902	8.1	—	8.1	—	—
ト ル コ	千トルコリラ 4,000	千トルコリラ 3,528	51,839	1.0	1.0	0.5	0.5	—
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 11,000	千ポーランドズロチ 12,296	348,969	6.5	—	—	6.5	—
ロ シ ア	千ロシアルーブル 208,000	千ロシアルーブル 234,205	339,598	6.3	—	4.6	1.7	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 23,000	千マレーシアリンギット 25,080	636,294	11.8	—	8.3	3.6	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 85,000,000	千インドネシアルピア 90,073,730	657,538	12.2	—	9.9	2.3	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 72,000	千南アフリカランド 71,398	433,390	8.1	8.1	8.1	—	—
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア元 10,000	千オフショア元 10,178	156,136	2.9	—	2.9	—	—
合 計	—	—	4,439,000	82.5	18.8	55.3	27.3	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期			償還年月日
			額面金額	評価額	未償還額	
			千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ(クレジット・リンク・ノート)		%				
	普通社債券 (含む投資法人債券) CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	—	3,350	3,367	358,863	2024/7/31
小計					358,863	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券 MEXICAN BONOS 10	10.0	24,000	28,662	136,149	2024/12/5
	MEXICAN BONOS 7.5	7.5	46,000	51,117	242,805	2027/6/3
	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	22,000	24,997	118,738	2031/5/29
小計					497,693	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券 BRAZIL NTN-F 10	10.0	8,000	9,467	187,455	2025/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	14,000	17,036	337,319	2029/1/1
小計					524,775	
ペルー			千ペルーソル	千ペルーソル		
	国債証券 PERU B SOBERANO 8.2	8.2	11,000	14,497	433,902	2026/8/12
小計					433,902	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券 TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	2,000	1,807	26,544	2024/3/20
	TURKEY GOVT BOND 10.5	10.5	2,000	1,721	25,294	2027/8/11
小計					51,839	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券 POLAND GOVT BOND 4	4.0	4,000	4,468	126,827	2023/10/25
	POLAND GOVT BOND 5.75	5.75	7,000	7,827	222,141	2022/9/23
小計					348,969	
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	国債証券 RUSSIA-OFZ 7	7.0	60,000	63,390	91,915	2023/1/25
	RUSSIA-OFZ 8.15	8.15	148,000	170,815	247,682	2027/2/3
小計					339,598	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券 MALAYSIA GOVT 3.733	3.733	12,000	13,091	332,137	2028/6/15
	MALAYSIA GOVT 3.882	3.882	7,000	7,540	191,301	2025/3/14
	MALAYSIA GOVT 3.885	3.885	4,000	4,448	112,854	2029/8/15
小計					636,294	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券 INDONESIA GOV' T 10	10.0	15,000,000	17,239,050	125,845	2024/9/15
	INDONESIA GOV' T 7	7.0	46,000,000	46,821,560	341,797	2030/9/15
	INDONESIA GOV' T 8.25	8.25	24,000,000	26,013,120	189,895	2036/5/15
小計					657,538	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券 REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	22,000	25,373	154,015	2026/12/21
	REP SOUTH AFRICA 8	8.0	50,000	46,025	279,374	2030/1/31
小計					433,390	
中国オフショア			千オフショア元	千オフショア元		
	国債証券 CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	10,000	10,178	156,136	2029/5/23
小計					156,136	
合計					4,439,000	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に(INRCLN)とあるものはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートの利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「—」と表示しております。

(注) クレジット・リンク・ノート(CLN)は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年8月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 4,439,000	% 82.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	941,546	17.5
投 資 信 託 財 産 総 額	5,380,546	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(4,586,115千円)の投資信託財産総額(5,380,546千円)に対する比率は85.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=106.57円、1メキシコペソ=4.75円、1ブラジルレアル=19.80円、1ペルーソル=29.93円、1トルコリラ=14.69円、1ポーランドズロチ=28.38円、1ロシアルーブル=1.45円、1マレーシアリングギット=25.37円、1インドネシアルピア=0.0073円、1南アフリカランド=6.07円、1オフショア元=15.34円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,457,392,344 円
コール・ローン等	794,431,248
公社債(評価額)	4,439,000,604
未収入金	150,795,091
未収利息	61,649,395
前払費用	11,516,006
(B) 負債	78,373,363
未払金	78,370,873
未払利息	668
その他未払費用	1,822
(C) 純資産総額(A-B)	5,379,018,981
元本	4,429,857,228
次期繰越損益金	949,161,753
(D) 受益権総口数	4,429,857,228口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,143円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.2143円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は5,330,918,492円、期中追加設定元本額は118,785円、期中一部解約元本額は901,180,049円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン(毎月決算型)愛称:アトラス(毎月決算型)  
3,998,758,875円  
新興国債オープン(1年決算型)愛称:アトラス(1年決算型)  
431,098,353円

## ○損益の状況 (2019年8月14日~2020年8月12日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	377,177,887 円
受取利息	377,335,180
その他収益金	10,773
支払利息	△ 168,066
(B) 有価証券売買損益	△147,785,613
売買益	404,830,851
売買損	△552,616,464
(C) その他費用等	△ 8,160,450
(D) 当期損益金(A+B+C)	221,231,824
(E) 前期繰越損益金	920,221,867
(F) 追加信託差損益金	21,215
(G) 解約差損益金	△192,313,153
(H) 計(D+E+F+G)	949,161,753
次期繰越損益金(H)	949,161,753

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

該当事項はございません。